

2. 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームなごみ
作成日 令和6年3月5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	コロナ禍ということもあり、家族の関りが減り管理者、主任などの職員のみが家族とのやり取りをしがちになり各入居者の担当職員の役割が希薄になっている	各入居者担当職員が家族とのやり取りを中心となって行うことができる	・年4回発行する「なごみ便り」に各担当者からその入居者 に対する様子を記入し報告 ・日頃から家族への電話連絡や面会時などの相談は各担当職員が中心になっ行う	来年度の一年間
2	2	コロナ禍で、外出機会が減り入居者全体的にADLの低下がみられる。コロナが5類に移行してからも積極的な地域活動の参加に至っていない	地域の行事やボランティアの受け入れを積極的に行っていく	・地域行事の把握と施設で参加できそうな行事の選定 ・コロナ禍以前のボランティア活動の受け入れ再開	来年度の一年間
3	4	コロナも5類にな、面会制限も緩和されている中で、なごみに招いての「運営推進会議」を行っていない	コロナ禍以前のように、なごみで集まっての「運営推進会議」を行える	・現在の運営推進会議の構成員の方から参加しやすい時間帯や日程を調整する ・運営推進会議の議題として何を話し合うか、構成員だけでなく職員からもヒアリングを行う	来年度の一年間
4	26	毎月、各ユニットでケアカンファレンスを行っており、その都度、計画作成担当者から介護計画について説明があるが、実際にケアに繋がる事が一時的で継続して行えないという場面が見られる	介護計画に沿ったケアが継続的に行える	・カンファレンスだけでなく、介護計画書についての研修会を行い、介護計画とケアに繋がりを意識した支援が行えるようにする ・実際に計画作成担当者と一緒に各入居者の担当者と話し合って一緒に計画、支援方法考える	来年度の一年間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。